

Clinical Kidney Journal 2015; 8: 744-752.

Contribution of dysregulated serum magnesium to mortality in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism: a 3-year cohort study.

Kurita N, Akizawa T, Fukagawa M, Onishi Y, Kurokawa K, Fukuhara S

慢性腎臓病患者で是正すべきミネラル代謝異常の眼目はカルシウムやリンであったが、近年マグネシウム(Mg)も注目されている。本研究は Mg が死亡に寄与する大きさを定量化するために行われた。対象は二次性副甲状腺機能亢進症を合併した血液透析患者 3276 名のコホート(MBD-5D)である。血清 Mg と死亡率の関係性は U 字型であった。特に、血清 Mg 2.5-2.7mg/dl を基準とすると、死亡率が血清 Mg \leq 2.5mg/dl で 1.6~1.7 倍高かった。集団の血清 Mg \leq 2.5mg/dl が血清 Mg 2.5-2.7mg/dl になった場合、約 4 分の 1 の死亡を防ぐ可能性を示した。